

下関市立大学 地域共創研究報告会

研究テーマ

Webからの地域・観光情報収集とその有用性の検討

—報告概要—

近年、地域情報あるいは観光・行楽情報を得る手段として、個人がインターネットから収集する事が多くなってきている。また、観光地を訪れた来訪者が、その体験・感想をSNSなどに情報発信している。情報技術の発展により、これまでに比べ簡単に情報を発信することが可能になっており、個人の経験を記述した「口コミ」情報が利用者・体験者の「生の声」として重視されるようになった。

その一方で、インターネットには膨大な情報が溢れ、必要な情報を見つけ出す技術・方法が求められている。そこで本研究では、インターネット上に存在する膨大なデータから、観光推進や地域振興などで活用するために「下関」関連の地域情報を収集し、当地域の特徴を抽出する方法を検討する。今回は、情報発信が可能なSNSの中でも、特に速報性が高く、手軽に情報発信が可能なTwitterに着目し、発信される情報を収集・蓄積・分析することで、様々な知見を得ることを目的としている。



Matsumoto Yoshiyuki

松本 義之

経済学部 国際商学科 教授



Yabuuchi Yoshiyuki

藪内 賢之

経済学部 国際商学科 教授

- ◆ 日時：6月5日(木) 16:30～17:30(質疑応答含む)
- ◆ 場所：下関市立大学本館Ⅱ-301教室
- ◆ 参加費：無料

- ◆ 駐車場に限りがございますのでなるべく公共交通機関をご利用ください。

◆お問い合わせ先◆

下関市立大学附属地域共創センター

TEL 083-254-8613

住所 下関市大学町2丁目1番1号

E-mail: chiikikyoso@shimonoseki-cu.ac.jp